

第21回日本静脈麻酔学会開催にあたって



会長 白神 豪太郎

第21回日本静脈麻酔学会(21st JSIVA)を高松の地で開催させていただけることを大変に光栄に存じます。本学会は、1994年、日本静脈麻酔・Infusion Technology 研究会として誕生以来、今年で20歳、名実ともに成人した今日では、静脈麻酔は既に確固たる地位を占めております。私事の思い出話で恐縮ですが、本学会発足の前年のことかと思えます。京大病院手術部の麻酔科控室で昼食休憩中のある日突然、当時の森健次郎教授から「先生、静脈麻酔をせえへんか、これからは静脈麻酔の時代や…」と言われました。浅はかな私には何のことやらよくわからず、大変そうなのでその時は逃げてしまいました。しかし、結局は逃れられず、現在も森先生の手の中で踊っております。

今期学術集会のテーマは「Sweet and Smart, TIVA」とさせていただきます。TIVAによる麻酔管理がsweet(すばらしい、優しい、心地よい…)でsmartであること、最近のポンプが(某社の宣伝ではなく…)スマートであることはJSIVA 会員諸兄姉の皆様には当然のことでしょうが、改めてTIVAの妙味を味わおうとの思いで名付けさせていただきました。

特別講演を香川大学医学部形態・機能医学講座細胞情報生理学教授、希少糖研究センター長の徳田雅明先生に、香川発の希少糖は「Sweet and Smart」という学会のテーマにととてもふさわしいとの思いで、お願い致しました。徳田先生からは即ご快諾を得ましたが、「Smart and Sweet」は希少糖含有シロップのキャッチコピーだと教えていただきました。我が身の不明を恥じますが、決して剽窃しようとしたわけではありません、お許しください。会場には希少糖スイーツをご用意させていただいておりますので、こちらの味わいも是非お楽しみ下さい。

ランチョンセミナーでは弘前大学の廣田和美先生に弘前大学でのTIVA 20年、教育講演Iでは京都大学の福田和彦先生にオピオイド受容体、教育講演IIでは防衛医科大学の増井健一先生にinfusion technologyの今昔のお話を伺います。一般講演におきましても興味深い研究や症例の報告がございます。今回は40歳までの若手の先生方のご活躍を期待してJSIVA若手奨励賞を設けました。従来どおりのJSIVA賞には年齢制限はございません。会員の皆様には是非ともご参加をいただき、活発なご議論を賜りますようお願いいたします。

21st JSIVAは第16回日本周術期時間医学研究会と平行開催となっております。本会の参加者はこちらにも参加できますので、時系列データ解析の珍味もご賞味下さい。

紅葉美しく、空気澄む瀬戸の海、さわやかなこの季節にJSIVA会員の皆様を高松にお迎えできますことを大変嬉しく存じます。うどん(希少糖うどんもあります!)だけじゃない香川県をご賞味いただきますよう、教室員一同、皆様のお出でを心待ちにしております。

平成26年11月吉日